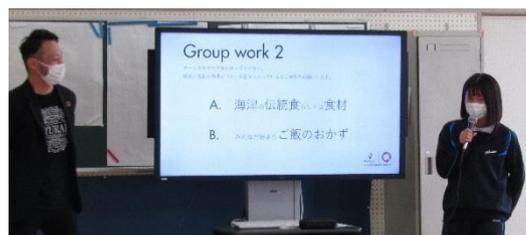


(様式1)

## 「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	海津市	学校名	海津市立平田中学校		
校長名	渡邊 満智子	対象学年	1年	人数	53人
項目		① 小・中学校の関連性や発展性を踏まえた実践や、幼稚園、高等学校、特別支援学校等と連携を図った実践			
該当する項目1つ 以上に○を付ける	○	② 県内施設や地域人材等の外部資源を活用し、岐阜県が誇る自然・歴史・文化・産業等の体験を通して学ぶ取組を効果的に位置付けた実践			
	○	③ ふるさと学習を核として、総合的な学習の時間と各教科、特別の教科道徳等との関連を図った教育課程を編成し取り組んだ実践			
学校の教育目標	きたえあい 自己を高める				
活動のねらい	・ふるさとである海津市の特産物を用いた商品を開発・販売する活動を通して、地域の方とつながったり、SNSなどによる広報を行ったりすることで、ふるさとの魅力に気づき、ふるさとをよりよくしようと主体的に活動できる生徒を育てる。				
活動の特色・児童生徒の変容など					
【活動の特色】					
① 地域の方とふるさとの名産「南濃みかん」を活用した南濃みかんジュースの商品開発 地域の方と交流を行い、みかんジュースの商品開発を一緒に行う。主な活動は、南濃みかんの収穫、みかんジュースを入れる瓶と商品棚に飾る際のパッケージ作りである。また、事業を展開するために必要な資金をクラウドファンディングで集めたり、インスタグラムを利用して広報を行ったりする。地域の事業者の方との交流を通して、生徒のふるさとへの理解と郷土愛を育てる。					
② 総合的な学習「海津未来学習」のカリキュラムの開発、実践を行う。 ふるさと海津において、産業振興の一端を担う経験をすることで、ふるさとの魅力を知り、郷土愛を育むとともに、自分事として主体的に地域に貢献できる態度を育む。					
【活動の概要】					
[10月下旬] 「南濃みかんプロジェクト」開始					
・海津市の地元企業の方から、トマトの生産が岐阜県で1位であることや、海津で作っているじゃがいもが、小売店等で販売されているスナック菓子に使われていることなど、海津市の農産物の魅力について具体的に話をいただいた。南濃みかんの生産に関わって、プロジェクトの概要や見通しを知る機会となった。					
→海津市の農産物の魅力について、知らなかったことへの驚きや、今後、海津市の魅力を発信していくことへの期待を得ることができた。また、地産地消がSDGsにつながることを知ることができた。					
[11月中旬] 南濃みかんの収穫体験					
・地元のみかん農家の方の農園で、みかんの収穫体験を行う。					
→海津市の地形を生かした栽培方法を知ることができたり、体験を通して、一つのみかんを作るだけでも多くの苦労があったりすることを実感できた。					



## (様式1)

### [11月下旬] 南濃みかんジュースを入れる瓶のラベルパッケージデザイン①

- ・収穫したみかんをジュースにしている工場の方とリモートでの質疑応答を行い、製造工程の中で多くの手間や時間をかけていることを知る機会となった。
  - ・デザイナーの方から、デザインに関わる講義をしていただき、パッケージデザインの製作をした。実際に商品となるみかんジュースの瓶を目の前にしてイメージをすることで、よりよいパッケージにしようと、デザイン作成に真剣に取り組むことができた。
- みかんジュース1本をつくりあげるのに、多くの方が関わっていることを実感した。責任をもって行動したいと感じたり、自分たちがふるさとのために、一生懸命に取り組むことが、今後の海津市の発展につながることを考えたりする生徒もいた。

みかんジュース  
製造工程二次元コード



### ※今後の予定※

### [12月上旬] 南濃みかんジュースを入れる瓶のラベルのパッケージデザイン②

- ・生徒作成のラベルをインスタグラマーの方にInstagramにアップしてもらい、フォロワーからの投票で南濃みかんジュースに貼るラベルを選んでもらうことも企画している。



### [12月中旬より] クラウドファンディング開始

- ・地元企業の方に、ご指導いただき、クラウドファンディングを開始する。生徒は、活動の様子やサンスレターなどを提供し、事業に関わる資金集めに関わり、事業を広めていくねらいがある。

### [12月下旬] ラベル貼り

- ・パッケージデザインの決定及び印刷、生徒の手でラベルを瓶に貼る作業を行う。

### [1月上旬] 市長表敬訪問

- ・開発した商品についての報告と今後の見通しについて、海津市長へプレゼンをする。

### 【生徒の変容】

- ・総合的な学習の時間「海津未来学習」を行う過程で、海津市のために、貢献している人がたくさんいることに気付く機会となった。また、南濃みかんジュースプロジェクトの話を進めていく中で、生徒がわくわくして体験に取り組んでいる姿があった。また、生徒の中に「自分たちの活動が海津市を有名にすることができるかもしれない」「海津市に熱い人がいたことを知って、うれしくなった。あの人たちみたいに海津のために何かしたい」などとふるさとに対して、興味・関心を強く持つ生徒が多くなったと感じる。今後も、活動は継続していくが、さらに主体的にふるさとの発展について考えたり、ふるさとに貢献したりできる熱い郷土愛をもった生徒を育てていきたい。

### 【来年度の見通し】

- ・今年度行った活動を総合的な学習の時間「海津未来学習」と位置付け継続させる。
- ・SDGsの学習の一環として、みかんの皮をゴミとして処分するのではなく、堆肥にして再利用をする。その過程を学ぶことで、身の回りのフードロスについても考える活動にしていきたい。
- ・「ふるさと海津市」の魅力について、ICTを効果的に活用して発信していける生徒の育成を目指す。